

青少年指導への心得



県協議会理事 出口 正雄

未来を担う青少年たちの育成に行政や地域社会での支えは必要です。

少年少女たちがどのように感じているのか知ることが重要です。青少年たちとふれあい、大人への信頼関係を築くこと

で望ましい環境が見えることもあるでしょう。その関係性を作るには、地域や社会、青少年に対して、どのようなサポート体制があるかなどの地域活動を理解してもらうことが興味への一歩になります。青少年たちとふれあうことに真摯に取り組み、協力していくことで互いに成長できる環境を作る機会になると思います。

青少年の明るい未来は、私達大人の1つ1つの行動から!!



県協議会理事 中野 隆則

このほど、理事を拝命いたしました県央地域の中野です。

私ども県央地域は、相模川を挟んで厚木・綾瀬・愛川・海老名・清川・座間・大和の7市町村です。また、圏央道の開通により風光明媚な山河、田園風景から

企業・大型店の進出で、私たちの生活環境も変化しております。同様に青少年の生活環境も変化しています。インターネット・SNS等情報手段の正しい使い方、挨拶や人とコミュニケーションが上手に出来て、人の痛みが分かり思いやりのある青少年を育成するため、皆様と一緒に出来る事からお手伝いと活動していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

ふたつのミッション



県協議会理事 相馬 喜昭

この度、湘南地区から理事に就任致しました相馬と申します。諸先輩方と協力し盛り上げていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。申し上げます。

青少年指導員を経験して思うのは私たちに課せられたミ

ッションは大きく二つあるように思います。

一つ目は「子どもたちからいかに笑顔が多く引き出してあげられるか」ということ。

それにはこちらから子どもたちに笑顔を降り注ぐのが一番と考えます。

二つ目は「私たちの後任をひとりでも多く集め、育てられるか」ということ。

子どもたちが家族以外の多くの大人と触れ合う事により、子どもの成長につながると考えます。

家庭や学校だけではなかなか出来ないこの二つのミッションに皆さんとぜひ取り組んでいきたいと思っております。

これからの活動に向けて



県協議会理事 高島 和之

青少年指導員を委嘱されて活動し、今年で17年目になります。これまでの活動を振り返ってみると、子どもたちとのふれあいがまだまだ足りなかったのではないかとの思いがあります。

私達の役割は、様々な体験活動、ボランティア活動を通して沢山の子どもたちとふれあうことが基本だと思っております。そのためには、今まで以上に学校、保護者、地域の方々にアピールし、参加を呼びかける必要があります。

11月の県下統一キャンペーンでは、各地域で工夫を凝らし、盛り上げていければと思っておりますし、次世代の指導員活動がうまく機能できるよう、さらに努力していきたいと思っております。



「地域で育てよう! 青少年。」

県協議会事務局

県青少年指導員連絡協議会では、青少年指導員の存在や活動を広く県民に知っていただくため、「地域で育てよう! 青少年。」をキャッチコピーにPRを行っています。

地域のイベントやキャンペーンでキャッチコピー入りの「のぼり旗」を掲げて活動をアピールしたり、県のホームページや保護者向けのチラシに地域で青少年指導員が活動していることを掲載しています。

皆さんも日々の活動で、青少年指導員の積極的なPRをお願いします。